

## ◎パチスロ A-SLOT偽物語

サミーが2013年に発売した高純増AT機「パチスロ化物語」は、今でもホールで稼働する大人気機種となりました。今年2月に登場したA+ART機「パチスロ偽物語」も高い評価を得ています。この「物語」シリーズの最新作が早くも登場。今度はA+RT機。どんな仕上がりになっているのか。その中身を見てみましょう。

2種類のBB（最大312枚獲得の同色BB、208枚獲得の異色BB）とRB（104枚獲得）で出玉を増やすA+RT機。BIG後は20G固定のRT「俵時間」に突入する。



©西尾維新 / 講談社・アニプレックス・シャフト ©Sammy

# Aタイプの充実には不可欠な1台

本機はA+RT機で、コイン単価は約2円、ベースは50枚当たり約34G、出玉率は98.3~109.7%、ボーナス合算確率は約1/151.7~1/118.7。天井はありません。

### ■通常時のゲーム性

通常時はスイカやチェリーなどのレア役同時抽選のほか、約1/83で出現する怪異リプレイ（特殊リプレイ）を契機に突入する4種類のチャンスゾーン（8G）でボーナスを目指します。

演出は基本的に「偽物語」に準拠していますが、新規に搭載したのが「怪異チャレンジ」。これはリーチ目を狙う演出で、成功するとボーナスが確定します。あるいは、リーチ目が出現しなくても、特殊リプレイ成立で期待度の異なる四つのチャンスゾーン（8G）のいずれかに移行します。

チャンスゾーン中は前作同様、怪異図柄を狙う演出があり、「狙え」のボイス発生時に怪異図柄をそろえられれば、ボーナス確定。チャンスゾーンは4種類あり、「解呪ノ儀」<「化物語解呪ノ儀」<「真・解呪ノ儀」<「和解ノ儀」と上位のモードになるほど、ボーナス成立への期待度がアップ。トータル期待度は約35%です。

### ■ボーナス

ボーナスは、獲得枚数が異なる2種

類のBBと、RBの計3種類。赤7、もしくは白7ぞろいの同色BBならば、最大獲得枚数は312枚。「オールスター」と「シスターズ」のいずれかの演出を選択でき、いずれも左リール上段の「白7」ビタ押しを狙います。

「オールスター」の場合は、ビタ押し成功時、液晶画面にキャラクターが出現。獲得するキャラの種類や組み合わせで、設定を示唆する仕掛けになっています。

「シスターズ」の場合は、ビタ押しが成功すると、マイスロ経験値がアップするか、祝福カットイン演出が発生。祝福カットイン演出では、登場するキャラが設定を示唆します。

一方、色違いの異色BBは約208枚、RBは約104枚獲得できます。

3種類のボーナス比率は1:1:1。BB終了後には、必ずRT「俵時間」に突入します。

### ■BB終了後のRT「俵時間」

「俵時間」は、同色、および異色BB後に必ず突入する20GのRT。シリーズ前作までの演出を継承し、「俵時間」中の連チャンが続くと、演出も変化していきます。また、「俵時間」中に怪異リプレイが出現すると、ボーナス獲得が濃厚となります。

7月4日から市場導入予定で、販売

台数は約5000台だとか。

今後はパチスロも、パチンコ同様にさまざまな規制の影響を受ける中、息の長いAタイプの設置シェアを増やしていく必要があります。そのためには、ジャグラーシリーズやアクロス系以外のバリエーションも必要です。

ATの「化物語」、A+ARTの「偽物語」、いずれも高い評価を得てきましたが、今回のノーマルタイプの「偽物語」についても、高い評価が寄せられています。特に同社の「うる星やつら」や「ウーロン」などを打ち込んだお客さまは期待していると思います。

スペック面でも、ボーナス合算確率が設定1で約151.7分の1と甘めになっているため、会社帰りのサラリーマン層が「ハナビ」以外に触る1台としても、長く遊技されるのではないのでしょうか。高設定であれば連チャンも期待できる。瞬発力もあり、楽しみな一台です。

### PROFILE

糸柳達成（いとやなぎ たつなり）

株式会社アテイン 代表取締役

関東の老舗ホール企業で約17年半勤務。店長としても新規・リニューアルを含めて6店舗を経験。業界歴は25年以上。現在はホールコンサルタントのほかにも店長研修、セミナー講師、集客企画などマルチな活動を行っている（詳しくは<http://at-attain.com>参照）。「パチンコ必勝ガイド」「パチスロ必勝ガイド」など、ファン雑誌への登場も多数。